

款	消防費	項	消防費			
事業名	消防団車庫整備事業					
施 策 の 大 綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施 策 の 内 容	1 消防力の充実					
H29決算額	23,682千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				23,600千円		82千円

【事業の概要】

昭和46年建築で老朽化が著しく、耐震性能でも基準を満たしていない第33分団（上坂田）の車庫を解体し、新たに建物を整備しました。

（単位：千円）

区 分	事 業 費	概 要
解体工事費	767	構造等：鉄骨造2階建，1階 車庫，2階 詰所 床面積：1階 25.00㎡，2階 13.00㎡ 合計 38.00㎡
新築工事費	22,915	構造等：軽量鉄骨造2階建，1階 車庫，2階 詰所 床面積：1階 31.91㎡，2階 31.91㎡ 合計 63.82㎡
合 計	23,682	

【土地の概要】

所在地	土浦市上坂田1135番1
所有者	上坂田町会
地目	宅地
地積	308.25㎡



土浦市消防団第33分団車庫

【事業の成果】

耐震性能基準を満たす車庫としたことにより、大規模地震が発生した際でも、市民の生命及び財産を守るため、確実に消防車が出動できるようになりました。

また、消防団の活性化と消防団員の士気高揚に寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費			
事業名	「小中一貫教育」推進事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	3 教育内容の充実					
H29決算額	16,405千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						16,405千円

【事業の概要】

小中学校を貫く学びの連続性の中で、学校が主体的に創意工夫に努め、児童生徒の発達段階を考慮しながら、心豊かに個性を発揮できるたくましい子どもの育成を図ります。

◎学びの連続性を踏まえた学習系統表の活用

9年間の学びを踏まえた学習系統表を効果的に活用し、小中学校間の接続を円滑に行い、中一ギャップの解消に努めます。

◎ＩＣＴ機器を活用した学習指導

児童生徒の学習の理解を深めるため、映像や音声、シミュレーションの機能を生かした学習指導を小中一貫の学習方法として推進しており、デジタル教科書の導入や電子黒板などＩＣＴ機器を効果的に活用しています。また、児童生徒による学校間テレビ会議やプレゼンテーションなどの活動を通して、思考力・判断力・表現力を育む授業を実践しています。さらに、情報教育サポーターを配置し、児童生徒の機器操作を支援するとともに、教員のスキルアップに努めています。

◎小中学生の交流活動

小中一貫交流会を実施し、小学生が中学校に集まるなど他校の小学生や中学生と交流を深めました。

〔事業費〕

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
報酬	13,451	小中一貫教育推進非常勤講師（市内7中学校 7人）
委託料	2,268	情報教育サポーター委託料
使用料及び賃借料	661	小中交流会バス借上料
その他	25	事務費等
合計	16,405	



TV会議システムを使用した
交流学习



中学校教員による
乗り入れ指導



小学生の部活動体験

【事業の成果】

各中学校区において、それぞれの学区の特色を生かした取組を推進することができました。

小中一貫教育完全実施に向けて、児童生徒の交流活動や教職員の合同研修などを充実させ、小中一貫教育運営協議会や小中一貫推進主任会を中心に、全市的な研究、実践を進めました。

また、学校の通称名や、中学生の学年の呼び方、卒業式や入学式の名称の変更等を行い、地域住民への幅広い周知を行いました。

款	教育費	項	小学校費／中学校費								
事業名	小・中学校施設非構造部材耐震化事業										
施 策 の 大 綱	2－5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり										
施 策 名	1 生きる力を育む学校教育の充実										
施 策 の 内 容	10 学校施設の整備・充実										
H29決算額	277,243千円	財源内訳	<table> <tr> <td>国県支出金</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr> <tr> <td>77,328千円</td><td>198,500千円</td><td></td><td>1,415千円</td></tr> </table>	国県支出金	地方債	その他	一般財源	77,328千円	198,500千円		1,415千円
国県支出金	地方債	その他	一般財源								
77,328千円	198,500千円		1,415千円								

【事業の概要】

東日本大震災の被害状況を受け、児童・生徒の安全確保のため、屋内運動場・柔剣道場の非構造部材について落下防止対策を講じます。

平成29年度は、小学校6校の屋内運動場、中学校8校の柔剣道場の非構造部材について、耐震化工事を実施しました。

〔事業内容〕

◎対象校

	学校名	構造	階数	延床面積	棟数
小学校	下高津小学校	鉄骨造	2階	828㎡	1棟
	東小学校	鉄骨造	2階	794㎡	1棟
	都和小学校	鉄骨造	2階	964㎡	1棟
	荒川沖小学校	鉄骨造	2階	957㎡	1棟
	中村小学校	鉄骨造	2階	957㎡	1棟
	右廻小学校	鉄骨造	2階	949㎡	1棟
中学校	土浦第一中学校	鉄筋コンクリート造	3階	497㎡	1棟
	土浦第二中学校	鉄筋コンクリート造	2階	596㎡	1棟
	土浦第三中学校	鉄骨造	1階	556㎡	1棟
	土浦第四中学校	鉄骨造	1階	486㎡	1棟
	土浦第五中学校	鉄骨造	1階	486㎡	1棟
	土浦第六中学校	鉄骨造	1階	486㎡	1棟
	都和中学校	鉄骨造	1階	486㎡	1棟
	新治中学校	鉄骨造	1階	494㎡	1棟

◎工事内容

体育器具・照明器具等の落下防止、窓ガラスの飛散防止、吊り天井の改修等

〔事業費内訳 平成28年度からの繰越分〕

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	25,034	実施設計、工事監理
工事請負費	252,209	非構造部材耐震化工事
合計	277,243	



六中柔剣道場工事前



六中柔剣道場工事完成後

【事業の成果】

工事の完了により、耐震性能の向上につながり、児童・生徒の安心安全な学校生活に寄与するとともに、学習環境の向上を図ることができました。

款	教育費	項	中学校費			
事業名	中学校施設大規模改造事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	10 学校施設の整備・充実					
H29決算額	412,344千円	財源内訳	国県支出金 113,351千円	地方債 298,900千円	その他	一般財源 93千円

【事業の概要】

老朽化した電気・給排水等の各種設備、劣化している外装等の改修工事を実施することで、生徒の安全確保、学校施設の長寿命化を図ります。

平成29年度は、平成28年度に行った実施設計に基づき、土浦第六中学校の校舎及び屋内運動場の大規模改造工事を実施しました。

◎対象校 土浦第六中学校

建物名	構造	階数	延床面積	棟数
校舎	鉄筋コンクリート造	4階	5,818㎡	1棟
屋内運動場	鉄筋コンクリート造	2階	1,064㎡	1棟
屋内運動場外トイレ	鉄骨造	1階	17㎡	1棟

◎工事内容

教室床及び壁改修、外壁塗装、建具・家具更新、電灯配線改修、給水管改修、衛生設備改修
屋内運動場屋根改修及び防水改修、屋外トイレ改修等

[事業費内訳 平成28年度からの繰越分]

(単位：千円)

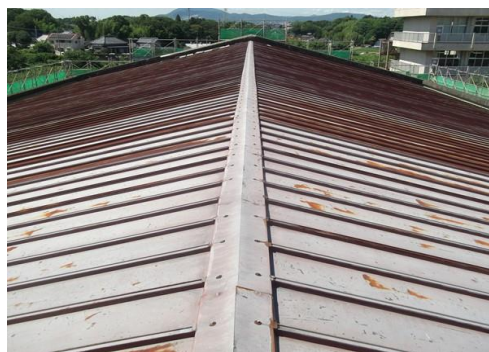
区分	事業費	概要
工事請負費	412,344	大規模改造工事
合計	412,344	



教室内部 工事前



教室内部 工事完成後



屋内運動場屋根 工事前



屋内運動場屋根 工事完成後

【事業の成果】

工事の完了により、非常災害時の避難場所にも指定されている学校施設の長寿命化を図るとともに、生徒の安全安心な学習環境の向上に寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費／小学校費／中学校費			
事業名	新治地区小中一貫教育学校整備事業					
施 策 の 大 綱	2－5　心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	1　生きる力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	1 1　小中学校の適正配置					
H29決算額	2,447,785千円	財源内訳	国県支出金 451,191千円	地方債 1,711,400千円	その他	一般財源 285,194千円

【事業の概要】

藤沢小・斗利出小・山ノ荘小の3小学校を1校に統合し、新治中学校敷地内に校舎を増築するとともに既存校舎や屋内運動場を活用して、施設一体型の小中一貫校を整備しました。

〔事業内容〕

- 校舎増築工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建 3,538㎡
普通教室 8教室、職員室、保健室、図書室、新治ホール等
- 既存校舎改修工事 鉄筋コンクリート造 3階建 3,857㎡
普通教室 14教室、特別教室（音楽室、理科室、調理室等）8教室等
- 屋内運動場改修工事 鉄筋コンクリート造 3階建 1,163㎡
内装改修工事等
- 外構工事 バスロータリーの整備、遊具設置等

〔事業費の内訳〕

(単位：千円)

区分	H28年度からの繰越	現年度分	概要
旅費	0	4	工場検査
需用費	0	8,521	増築校舎・既存校舎用消耗品
役務費	0	5,986	完了検査手数料、物品移設手数料
委託料	25,078	21,362	監理業務委託
工事請負費	1,205,836	1,162,522	校舎増築工事、既存校舎改修工事
備品購入費	0	18,476	校舎増築工事、既存校舎用備品
合計	1,230,914	1,216,871	



工事完成後 全景



工事完成後 増築校舎

【事業の成果】

平成30年4月に市内初の施設一体型小中一貫校（新治学園義務教育学校）として開校し、施設整備による学習環境の改善を図りました。小中一貫教育学校を整備することで、9年間の連続した学びとともに日常的に児童・生徒の交流等が図られることから、社会性や協調性の向上につながります。さらに、小中学校教員の連携が図られることから、より良い生徒指導体制を確立することができます。

款	教育費	項	幼稚園費				
事業名	市立幼稚園適正配置事業						
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施 策 名	1 生きる力を育む学校教育の充実						
施 策 の 内 容	1 幼児期の教育の推進						
H29決算額	4千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 4千円	

【事業の概要】

市立幼稚園の園児数が年々減少し、定員を大きく下回っていることから、幼児の健やかな成長のための適当な環境を維持することが難しくなっています。このため、近年の幼稚園需要の変化を考慮し、本市の幼稚園教育全体の充実を目指すことから、土浦市立幼稚園の再編計画に基づき市立幼稚園の適正配置を実施します。

◎これまでの経緯

- 平成27年度 土浦市立幼稚園適正配置内部検討委員会の開催（5月～2月）
- 平成28年度 土浦市立幼稚園の再編計画の策定（5月）
- 土浦市幼稚園連絡協議会の開催
- 平成29年度 土浦市幼稚園連絡協議会の開催
- 視察研修会の開催
 - ・平成29年10月24日 市立土浦幼稚園
 - ・平成30年 2月13日 認定こども園ひたち学院幼稚園
- 土浦第二幼稚園、都和幼稚園、大岩田幼稚園の廃止
（平成30年3月31日）



土浦幼稚園の視察研修

【事業の成果】

土浦市立幼稚園の再編計画に基づく適正配置の実施に当たり、市内幼稚園の抱える様々な課題のうち、特に支援を要する園児に関することについて、認識の共有、課題解決を図るため、土浦市幼稚園連絡協議会及び視察研修会を開催しました。また、再編計画に基づき、平成29年度末をもって土浦第二幼稚園、都和幼稚園、大岩田幼稚園の3園を廃止しました。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	武者塚古墳出土品保存台製作事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	4 文化・芸術活動の振興					
施 策 の 内 容	4 埋蔵文化財の保護と活用					
H29決算額	2,235千円	財源内訳	国県支出金 1,078千円	地方債	その他 1,157千円	一般財源

【事業の概要】

平成26年度に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存し、本市の教育普及事業の更なる充実を図ることを目的としています。

本事業は、平成28年度から30年度までの3年間で、出土品をより安定的な状態で保存できる保存台を製作します。また、さびやひびなどが発生し保存処理が必要な出土品について適正な保存処理を行いました。

◎事業実績と今後の予定

[平成28年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概 要
報償費・旅費	135	銀製の帯状金具・銅装の大刀・鉄鏃などの保存処理，勾玉やガラス小玉の保存台製作
委託料	2,089	
合計	2,224	

[平成29年度分]

区分	事業費	概 要
報償費・旅費	179	鉄鏃の保存処理や，銀製の帯状金具・銅製の杓・大刀・銀装の大刀・鉄鏃の保存台製作
委託料	2,056	
合計	2,235	

[平成30年度の予算額]

区分	事業費	概 要
報償費・旅費	200	鉄鏃の保存処理や，銅装の大刀・大刀の鏢・鉄鏃の保存台製作，美豆良（みずら）の現況調査と保存台製作
委託料	2,928	
合計	3,128	



銅製の杓



銀製の帯状金具



銀装の大刀

【事業の成果】

保存台の製作により安定した状態での保管と，出土品を一同に見ることが出来るようになりました。また，劣化進行している出土品の保存処理を行ったことで，劣化の進行を遅らせることができ，より長期的な保存が可能となりました。引き続き，残りの出土品の保存台製作を進めていきます。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	市民会館耐震化及び大規模改造事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	4 文化・芸術活動の振興					
施 策 の 内 容	2 文化施設等の整備充実					
H29決算額	14,526千円	財源内訳	国県支出金 2,073千円	地方債 6,400千円	その他	一般財源 6,053千円

【事業の概要】

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、老朽箇所等の大規模な改修を行い、施設を安心・安全に利用できるように整備します。

平成29年度は、設計業務及び、設計に伴って急遽必要となった地質調査業務を実施しました。

[平成29年度事業費]

(単位：千円)

区 分	事業費	翌年度繰越分	概 要
委託料	11,728	24,236	土浦市民会館耐震補強及び大規模改造工事設計業務委託
	2,798	-	土浦市民会館耐震補強に伴う地質調査業務委託
合計	14,526	24,236	

◎改修工事の概要

- ・耐震補強工事
- ・大小ホール天井脱落防止対策
- ・トイレの全面改修
- ・エレベーター及びスロープの新設
- ・大小ホール客席の交換
- ・老朽化した設備の改修
- ・その他、法令上・安全上必要な工事



エレベーター及びスロープの新設イメージ

◎事業スケジュール

平成29年度 設計業務実施
平成30年度 改修工事
平成31年度 改修工事
平成32年4月下旬 リニューアルオープン予定



市民会館改修イメージ

【事業の成果】

平成29年度は、改修工事の内容を決定し、設計業務を進めました。

今後は、平成32年4月下旬のリニューアルオープンを目指し、改修工事を進め、文化芸術活動の拠点として、市民等が安心して利用できるように、施設の安全性を確保します。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	新図書館施設整備事業／美術品展示室整備事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興, 4 文化・芸術活動の振興					
施 策 の 内 容	4 新図書館の整備・推進, 2 文化施設等の整備充実					
H29決算額	2,573,815千円	財源内訳	国県支出金 954,042千円	地方債 1,264,000千円	その他 30,010千円	一般財源 325,763千円

【事業の概要】

土浦駅前北地区市街地再開発事業の複合施設として、市民の生涯学習活動や芸術文化活動の拠点となるとともに、街や人を元気にする交流拠点として、集客やにぎわいを創出する、新しい図書館及び本市初となる美術品展示室（ギャラリー）を整備し、平成29年11月に開館しました。

[平成25～28年度事業費]

(単位：千円)

区 分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概 要
工事請負費	239,523	77,371	316,894	図書館・ギャラリー内装工事
委託料	70,402	4,808	75,210	基本設計, 実施設計 図書館・ギャラリー工事監理
備品購入等	1,753	4,999	6,752	図書整備等
繰出金	2,883,219	550,162	3,433,381	駅北特別会計への繰出金
合 計	3,194,897	637,340	3,832,237	

[平成28年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概 要
工事請負費	353,352	108,056	461,408	図書館・ギャラリー内装工事
委託料	6,636	1,952	8,588	図書館・ギャラリー工事監理
備品購入等	440,640	0	440,640	自動化書庫, 書架等
繰出金	5,466	617	6,083	駅北特別会計への繰出金
合 計	806,094	110,625	916,719	

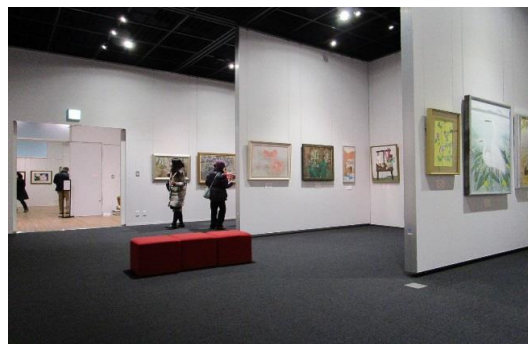
[平成29年度事業費]

(単位：千円)

区 分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概 要
工事請負費	525,026	228,792	753,818	図書館・ギャラリー内装工事
委託料	12,823	3,930	16,753	図書館・ギャラリー工事監理
備品購入等	250,191	13,579	263,770	閲覧用備品, 図書整備等
その他	22,794	1,179	23,973	準備業務, 引越し, くん蒸等
繰出金	489,616	109,166	598,782	駅北特別会計への繰出金
合 計	1,300,450	356,646	1,657,096	



図書館



ギャラリー

【事業の成果】

市民の交流やにぎわいを生み出し、中心市街地の活性化が期待されている、新図書館、ギャラリーにおいては、平成29年度末現在、1日平均で図書館が約2,000人、ギャラリーが約250人と多くの方々に利用されています。

第8次土浦市総合計画の成果指標として、図書館が400,000人、ギャラリーが32,000人と設定している年間利用者数については、現在の来館者ペースから推測すれば達成することが見込まれます。両施設のオープンにより駅前を中心として、にぎわいが生み出されています。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	新図書館 I C T 推進事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興					
施 策 の 内 容	4 新図書館の整備・推進					
H29決算額	28,300千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 28,300千円

【事業の概要】

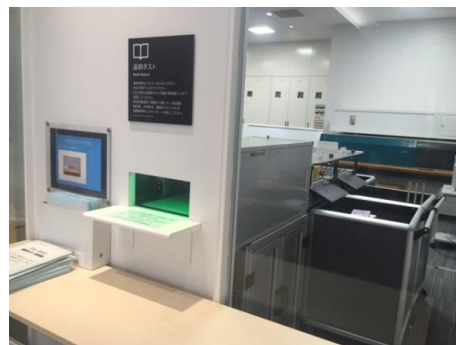
生涯学習と情報の拠点、市民の交流拠点として、平成29年11月に開館した新図書館において、図書館システムや座席予約システム、オンラインデータベース等、I C T 関連システムを導入し、活用することにより、市民の利便性の向上や情報提供の充実に努めました。

(単位：千円)

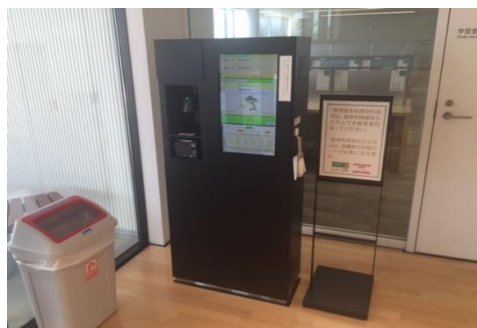
区 分	事業費	概 要
図書館システム使用料	23,369	図書館所蔵資料・利用者データの管理システム使用料
複写機賃借・使用料	878	利用者向け複写サービス及び事務用複写機の使用料
オンラインデータベース使用料	212	調査研究用の新聞記事・官報・法規等のオンラインデータベース使用料
電子書籍使用料	1,444	電子書籍（228コンテンツ）の使用料
座席予約システム導入費	2,397	学習室やインターネット席の利用予約システム使用料
合 計	28,300	



自動貸出機（図書館システム）



自動返却仕分機（図書館システム）



座席予約システム



オンラインデータベース

【事業の成果】

新図書館の開館に伴い、自動貸出、自動返却などの図書館システムのほか、電子書籍や各種新聞記事・官報等オンラインデータベースなどのI C T 関連システムを導入しました。

貸出や返却、座席予約システム等による手続きの自動化により、1日平均約2,000人の利用者に対しても円滑なサービスを提供することが可能となりました。また、電子書籍やオンラインデータベースなどの新規サービスの展開により、図書以外の情報提供の充実に努めることができました。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	美術品公開推進事業						
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施 策 名	4 文化・芸術活動の振興						
施 策 の 内 容	1 芸術文化活動の推進						
H29決算額	2,892千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
					28千円	2,864千円	

【事業の概要】

市民ギャラリーのオープニング記念展覧会として、下記の展覧会を開催しました。

- ◎ オープニング展第1弾 「茨城県近代美術館 移動美術館 ー茨城ゆかりの洋画家たちー」
同時開催 土浦市収蔵美術品展
会期 平成29年11月27日（月）～平成30年1月14日（日） 開館日数 41日間

近代美術館が所蔵する洋画コレクションから、茨城ゆかりの作家による優品を展示しました。

また、印象派の巨匠クロード・モネの作品が特別出品されました。

来場者数：15,016人

〔事業費〕 (単位：千円)

賃金	1,059	移動美術館展示会場監視員賃金
需用費等	1,255	展覧会図録、ポスター、事務費等
合計	2,314	



移動美術館 展示風景

- ◎ オープニング展第2弾 「第70回 土浦市美術展覧会」
会期 平成30年1月19日（月）～1月28日（日） 開館日数 10日間

70年目を迎えた市展では、県内でもっとも歴史のある市民公募の展覧会に相応しく、多くの力作が出品されました。

新会場での開催を記念して、市美術展委員によるギャラリートークが実施されました。

来場者数：2,834人

〔事業費〕 (単位：千円)

委託料	578	美術展覧会開催委託料
合計	578	



市展 ギャラリートーク

出品点数合計 374点（前年度比 +56点） (単位：点)

部門	日本画	洋画	彫刻	美術工芸	書	写真	デザイン
出品点数	35	127	14	36	110	51	1
前年比	+7	+21	+5	+12	+19	-4	-4

【事業の成果】

県近代美術館との共催により、印象派の巨匠クロード・モネの作品や、茨城の洋画壇を代表する作品を展示できました。市内小中学校の団体見学もあり、15,000人を超える来場者がありました。市展では、昨年度より出品数が56点増加し、来場者数も前年度比で1,788人増となりました。

優れた美術品の鑑賞の場を提供すると同時に、芸術文化を介した市民同士の交流の場を創出できたことで、駅前活性化に寄与しました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	川口運動公園野球場観覧席、夜間照明灯及び関連施設整備事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施 策 の 内 容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H29決算額	1,401,846千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,058,900千円		342,946千円

【事業の概要】

老朽化が著しく狭隘な野球場の観覧席を改修するとともに、平成31年度茨城国体の軟式野球開催に向けて夜間照明灯の整備を進め、平成29年7月にリニューアルオープンしました。

また、オープンに際し新たにネーミングライツ事業を導入するとともに、フェンス広告を増やし歳入の確保に努めました。ネーミングライツ事業により愛称が「J：COMスタジアム土浦」となり、市民に親しみやすい球場へと生まれ変わりました。

◎施設の概要

整備場所：土浦市川口二丁目地内

工 期：平成27年9月～平成29年6月
(既存内野観覧席撤去含む。)

延床面積：8,620.68㎡

建築面積：4,882.60㎡

高 さ：19.35m（メインスタンド高）

構 造 等：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て
(1階関連諸室、2階観覧席)

収容人数：約13,000人（内野約10,000人、外野約3,000人）

ダックアウト：28席×2

夜間照明：LED照明灯4基設置



新たな観覧席とナイター照明

◎事業費

(単位：千円)

	区 分	全体事業費	平成28年度 からの繰越額	平成29年度 決算額
整備費	解体工事費	51,138		
	野球場ナイター照明設備工事	383,400		72,846
	野球場改築建築主体工事	1,432,080	453,492	1,040,645
	野球場改築機械設備工事	135,972	40,791	101,979
	野球場改築電気設備工事	117,720	94,176	116,543
	工事監理業務委託	31,828	11,246	25,886
	周辺整備工事	44,820	26,900	26,900
	その他（設計委託等）	39,892		11,954
	小 計	2,236,850	626,605	1,396,753
平成29年度維持管理費（委託料、電気料金等）				5,093
合 計				1,401,846

◎平成29年度利用実績（平成29年7月から）

- 大会開催日数：52日
- 練習利用日数：16日
- ナイター利用日数：12日
- 利用者合計人数：33,026人

【事業の成果】

新規の大会が複数回開催されるようになったほか、ナイターでの利用が可能になったことから、市内外からのJ：COMスタジアム土浦への注目度がアップし、多くの競技者や観客がスタジアムを訪れています。

また、リニューアルオープン以降、プロ野球イースタンリーグ戦が毎年行われるようになり、プロ野球を観戦することで市民の満足度の向上が図られるとともに、市民の競技レベルの向上に繋がることが期待されます。

款	教育費	項	保健体育費				
事業名	茨城国体準備事業						
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施 策 名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興						
施 策 の 内 容	2 競技スポーツの充実						
H29決算額	7,096千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						7,096千円	

【事業の概要】

平成31年に開催する第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）の円滑な運営に必要な準備を行いました。また、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って大会の開催ができるよう下記の事業等を行いました。

◎これまでの経緯

- ・平成28年 5月 第74回国民体育大会土浦市準備委員会を設立
- ・ 〃 11月 第2回土浦市準備委員会総会において2019茨城国体土浦市実行委員会に改組

◎平成29年度主な事業内容

- ・平成29年 4月～ 茨城国体認知度向上、機運醸成のためのPR活動（キララまつりほか13のイベントへ参加）
- ・ 〃 5月 2019茨城国体土浦市実行委員会第3回総会の開催
- ・ 〃 6月 2019茨城国体土浦市開催競技会場設計業務委託（期間：平成30年3月まで）
- ・ 〃 6～10月 花いっぱい運動の試行栽培及び飾花の実施（試行栽培：市内小中学校、飾花：J：COMスタジアム土浦）
- ・ 〃 7月 全庁的に茨城国体に取り組むため、庁内推進会議を設置
- ・ 〃 9～10月 第72回国民体育大会（愛媛国体）の視察
- ・ 〃 10月～ 2019茨城国体土浦市実行委員会ホームページの開設
- ・平成30年 3月 庁内推進会議から土浦市実施本部に移行し、体制を強化

◎事業決算額

（単位：千円）

区 分	事 業 費	概 要
負担金	7,096	2019茨城国体土浦市実行委員会運営負担金

◎第72回国民体育大会（愛媛国体）の様子



総合開会式



水球競技（開催地：松山市）

【事業の成果】

県民・市民の茨城国体開催認知度の向上を目指して、市内で開催された各種イベントに参加し、茨城国体のPRを実施したことにより、開催認知度向上や機運の醸成が図られました。

花いっぱい運動では、市内の小中学校に協力をいただきながら試行栽培を実施し、J：COMスタジアム土浦において開催された野球大会時に飾花を行い、会場を訪れた選手や監督などを温かく迎えることができました。

土浦市実施本部では、効率的な大会運営が出来るよう推進体制の強化を図りました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	学校給食センター再整備事業					
施 策 の 大 綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施 策 名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	8 学校給食の充実					
H29決算額	117,031千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				71,500千円		45,531千円

【事業の概要】

老朽化した既存の2つの学校給食センターを統合し、平成32年9月に旧新治庁舎跡地に1センター方式として新学校給食センターを整備します。このため、平成28年度に実施したプロポーザルで選定した厨房機器業者の協力を得ながら、平成28年度・29年度の2か年で基本・実施設計を実施しました。また、平成29年度には、旧新治庁舎の解体工事や記念碑等の移設工事を実施しました。

◎これまでの経緯

平成25年度 土浦市立学校給食センター再整備基本構想を策定
平成26年度 新学校給食センターの事業手法を決定
平成28年度 新学校給食センターの建設場所を旧新治庁舎跡地に決定
厨房機器業者を選定するプロポーザルを実施
平成29年度 再整備基本・実施設計を作成（平成28年度・29年度の継続費）
旧新治庁舎の解体工事、記念碑等の移設工事を実施

[平成29年度事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	52,450	再整備基本・実施設計・地質調査委託料
	195	旧新治庁舎什器等処分委託料
工事請負費	60,228	旧新治庁舎他3棟解体工事費
	4,158	旧新治庁舎敷地内記念碑・記念樹等移設工事費
合計	117,031	

◎新学校給食センター建設場所：土浦市藤沢地内（旧新治庁舎跡地）

新学校給食センター概要	
提供給食数	12,000食/日
献立形態	3献立制
建築面積	4,098.95㎡
敷地面積	6,883.67㎡



解体前



解体後

◎今後の事業スケジュール

平成30年度～平成32年5月
建築工事（継続費）、厨房機器物品購入（債務負担行為）
平成32年9月 供用開始



新学校給食センターイメージ図

【事業の成果】

プロポーザルによって選定した厨房機器業者の協力を得ながら、平成28年度・29年度の継続事業として基本・実施設計等を実施し、安心・安全で望ましい学校給食が提供できるコンパクトで効率的な施設を計画しました。加えて、学校や家庭との連携を図りながら食物アレルギーの対応が可能な設備・機能を整備するとともに、食に関することや地産地消を学べる施設として、食育の推進にも寄与することを目指して事業を推進します。